

福井県公安委員会 開催概要

平成31年4月25日開催 「定例公安委員会」



会議状況

1 包括的案件

〈報告事項〉

(1) 公職選挙法違反事件の検挙

県警察から、公職選挙法違反事件の検挙について報告があった。

委員から「投票そのものの信頼性を失う非常に大きな事案だと思う。今後このような事案の防止について、関係機関と連携してしっかり対応していただきたい。」との発言があった。

委員から「組織的な古い手法の選挙違反のように思われるが、超高齢社会になるとかえって起きやすい環境ができるのではないかと思う。徹底的な解明を願いたい。」との発言があった。

委員から「どのような経緯で行われたのかその背景を綿密に調査して、選挙違反に対する厳しい姿勢を見せていただきたい。」との発言があった。

(2) 企業・大学との連携によるサイバー犯罪防止に向けた取組

県警察から、企業・大学との連携によるサイバー犯罪防止に向けた取組について報告があった。

委員から「サイバー犯罪で重要となるのは先端技術であり、対応が大変な部分であると思う。県内企業のみならず、国内の先端技術を有する首都圏企業への連携の働きかけも今後の課題として重要になると思う。」との発言があった。

委員から「今後の取組としてテクニカルアドバイザーの選任というのがあるが、非常に良いアイデアだと思う。今後のサイバー犯罪防止については、このような施策を進めながら更に効率的な方法を検討していただきたい。」との発言があった。

委員から「サイバー犯罪についてはこれからどう取り組むかが非常に大事な新しい分野なので、様々な抑止活動等を実施していただき、福井県警察としてのサイバー犯罪防止方法を確立していただきたい。」との発言があった。

(3) 春の交通安全県民運動の実施

県警察から、春の交通安全県民運動の実施について報告があった。

委員から「交通事故は一瞬の気の緩みから起きやすいことから、福井県の統一行動日や全国一斉の取締日の設定は非常に効果的だと思う。福井県内においては特にシートベルト着用率向上が課題となるところだが、しっかりと取り組んでいただきたい。」との発言があった。

委員から「今注目されているのは高齢運転者の問題と、横断歩行者妨害の問題だと思う。よって、重点項目の中でも特に『子どもと高齢者の安全な通行の確保と高齢運転者の交通事故防止』を強調しながら活動していただくと効果的だと思う。」との発言があった。

委員から「県民運動の取組の中で、警察にしかできないことは交通取締りだと思う。ドライバーだけでなく、中学生、高校生の自転車及び歩行者に対しても、見える、見せる取締りの効果を期待している。」との発言があった。

2 個別決裁等

(1) 公文書公開決定等報告書（2件）

警察本部長に対する情報公開請求2件（本年4月8日及び同月16日付け）について、公開決定の報告を受けた。

(2) 「安全・安心ふくい」確実プランの推進結果

平成29年4月に策定し、平成31年3月末までの2年間にわたって取り組んだ「安全・安心ふくい」確実プランの推進結果について報告を受けた。

(3) 犯罪被害給付制度に係る重傷病給付金支給裁定

福井県公安委員会に対して提出された「遺族給付金支給裁定申請書」に対する支給裁定について説明を受け、これを決裁した。

(4) 平成31年度福井県留置施設視察委員会委員の推薦

平成31年度の留置施設視察委員会委員の推薦について説明を受け、任命予定者を決定した。

(5) 平成31年度県下留置施設に対する「実地監査」要領

平成31年度の県下留置施設に対する「実地監査」の実施について説明を受け、これを決裁した。

(6) 福井県道路交通法施行細則の一部改正

福井県道路交通法施行細則の一部改正について説明を受け、これを決裁した。

(7) 自動車運転代行業者に対する行政処分取扱規程の一部改正

自動車運転代行業者に対する行政処分取扱規程の一部改正について説明を受け、これを決裁した。

(8) 平成30年度中の特定秘密の保護措置及び適正評価の実施状況

平成30年度中の特定秘密の保護措置及び適正評価の実施状況について報告を受けた。

3 運転免許の処分関係

本日（4月25日）実施した道路交通法違反等に関する意見の聴取9件の実施結果と処

分内容に関する説明を受け、原案のとおりこれを決定した。